



◀書道家山口芳水さんによる書「花鳥風月」の披露

▶多久駅前を幻想的に彩る「龍のオブジェ」のイルミネーション



幻想的な光の装飾とパフォーマンスで来場者を魅了

多久駅前イルミネーション点灯式&プロジェクションマッピング

市民の交流拠点として今年8月に完成予定の中核施設の効果と多久駅周辺の賑わいづくりを検証する一環で、多久駅前に設置したイルミネーションの点灯式と、式典に合わせ企画したプロジェクションマッピング、音楽ライブパフォーマンスを行いました。

当日は、エフエム佐賀パーソナリティのDJ YUYAさんが司会を務め、佐賀出身ミュージシャンによる音楽ライブ、続いて映像クリエイターで多久在住の藤井啓輔さんいけいすけによるパソコンで作成したCGを映写機器を使って建物や空間に投影するプロジェクションマッピングと、書道家の山口芳水さんやまぐちほうすいによる圧巻の書道パフォーマンスが披露され、多久市内初の試みで来場者を魅了しました。

藤井さんは「CGの作成は数か月におよびましたが、山口さんの華麗な書道とのコラボで多久の活性化の一助になったのであれば嬉しいです」と振り返りました。

安全・安心な暮らしの実現に向けて

NTT西日本光ブロードバンドサービス開始

情報通信網の利便性向上を目的に、北多久町、東多久町と多久市内の一部の地区で開始されたNTT西日本光ブロードバンドサービスの開局式を2月3日、中央公民館で行いました。

開局式では、NTT西日本佐賀支店の柴田典昭支店長しばたのりあきが「通信の高度化で、安心・安全な暮らしの実現につながれば」とあいさつ。テープカットに続いて行われた光ブロードバンド回線を利用したTV電話方式を使ったやりとりでは、小中一貫校中央校と那覇市立石嶺小学校の児童そして、横尾市長が参加して学校紹介などで交流しました。

また、式に先立ち2月1日には、NTT西日本主催で旧北部小グラウンドにてバルーンの係留飛行が行われ、朝日が昇る青空のもと、来場者は上空20メートルまで上昇。バルーンからの眺めをしばしの間楽しみました。

▶開局式でのテープカットセレモニー



▲上空へ飛び立つ係留バルーン

モカ号捜索活動に協力！伊万里警察署から感謝状

1/24

昨年12月25日に伊万里市で発生した、行方不明事案みちのたふしの捜索活動に協力した河野忠敏さんかしのただとし（北多久町多久原）と愛犬モカに、伊万里警察署から感謝状が贈呈されました。



河野さんとモカのコンビで、行方不明者の足取りを追跡。発見とはならなかったものの事案解決に大いに貢献しました。

河野さんは「モカ号は2歳。まだまだ訓練が必要です。これからも地域に貢献していくよう頑張ります」と話しました。

交通安全への献身的な尽力を称え「緑十字金賞」を授与

1/17

全日本交通安全協会の交通安全栄誉賞「緑十字金賞」の表彰が東京で行われ、藤本昇さんふじもとのぼる（北多久町中多久）に対し授与されました。



今回の授与は、42年以上にわたり、多久市交通安全協会理事や交通指導員として、交通安全のため献身的に尽力した功績が認められたものです。

藤本さんは「目の前で知人が交通事故で亡くなるという経験から、悲しい事故を無くしたいとの思いで、子どもたちの通学を見守っています。今後も自分ができることに取り組み、人の役に立てれば」と指導員としての思いを語りました。